



# はばたきプラン

## 小中一貫教育「はばたき2021」 大原中学校ブロック研究発表会

### 〈研究主題〉

学力・体力の向上と豊かな心を育成する小中一貫教育  
～深まる授業・高まる学力・学びを結ぶいきいきトライ～

令和3年11月12日に、大原中学校ブロック（大曾根小学校、大原小学校、大原中学校）で小中一貫教育研究発表会を開催し、八潮スタンダード（目指すべき授業展開を示したモデル）とICT機器を活用した授業を公開しました。

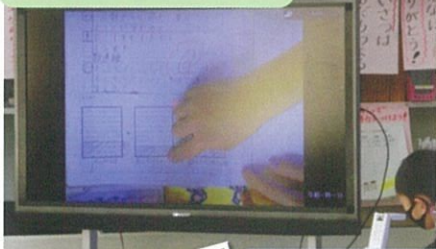


大原中学校ブロックでは、「小学校と中学校の9年間を授業でつなげる」ことを第一に、教職員の交流や出前授業など、様々な取組を実践しています。特に、八潮スタンダードで示されている「深める」に重点を置き、子どもたちの話し合いの充実やICTの効果的な活用について研究を推進しています。

話し合い活動では、ペア・トリオ・グループ学習を積極的に取り入れることで、児童生徒が自分と友達の考えを比べながら考えを深め、発表することへの意欲向上につながりました。さらに小学校と中学校で「深める」視点を統一することにより、学びを結ぶことができました。

また、ICTの活用についても、良い点や課題点などを共有することで発達段階に応じた活用法を考えることができ、授業に生かすことができました。今後も本研究を継続的に取り組み、児童生徒の学力・体力の向上と豊かな心を育成していきます。

### ICT（書画カメラ）を活用した授業



書画カメラで児童がノートを映して発表し、それを聞いた教員が考えのポイントを黒板にまとめました。

### “深める”場面での話し合い



トリオ学習

Bさんの食事にどんな食材を付け足したり、メニューを追加すると良いか？考えてみよう

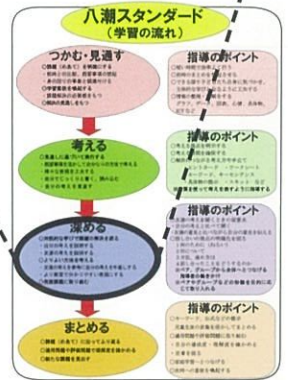


### 教員と市栄養士による食育の授業

成長期におけるカルシウム摂取の重要性について学びました。タブレットの付箋機能を使ってグループの考えを深めながら理想の献立を作成し、食生活を見直すきっかけになりました。

### 深める

- 対話的な学びで課題の解決を図る
  - ・自分の考えを説明する
  - ・友達の考えを説明する
- よりよい方法を考える
  - ・友達の考えを参考に自分の考えを手直しする
  - ・より簡潔で分かりやすい表現にする
- 発展課題に取り組む



### 「八潮の教育」合同報告会2021 ～小中一貫教育ではばたく児童生徒～

令和4年2月15日に八潮メセナで、「八潮の教育」合同報告会2021を開催しました。これは、小中一貫教育を柱に進めている本市の教育を市内外に広く周知するため、毎年、実施しているものです。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から規模を縮小し、オンラインで開催しました。



報告会では、大原中学校ブロックの研究発表会をはじめ、小中一貫教育推進検討部会の活動

や一人一台端末の活用例、プログラミング教育など、様々な実践について報告され、市内全小中学校に配信されました。





教えて  
こまちゃん!



1人1台端末の学習用端末（タブレット）を使って、学校ではどんなことをしているの？

令和3年度に配付されたタブレットには、協働的な学びを行うための協働学習ソフトや、一人ひとりのニーズや習熟度に応じた学習ができる個別学習ソフトが入っているんだ。学校には電子黒板も整備されているから、視覚で課題を捉えたり、すぐに情報が共有できたり、ICTを活用した新たな学びがスタートしているんだ。

八潮市では、それらと「八潮スタンダード」を組み合わせた学びを進めているよ。例えば、

- 授業開始時に電子黒板やデジタル教科書を使用して課題の確認
- 付箋機能を使って班で意見を出し合い、各班の意見を全体で共有
- 録画機能を使った国語の音読練習や理科の実験の記録
- 翻訳機能で英訳し、音声機能で発音チェック
- アンケート機能を使った授業の振り返り
- コロナ禍での臨時休業や学級閉鎖時におけるオンライン授業の実施

ICT機器は活用することが目的ではなく、授業のねらいを達成するための1つのツールなんだ。どの学校も、授業の場面に応じて効果的なICTを取り入れ、児童生徒の探求心や興味・関心を引き出す工夫をしているよ。お互いの考えをすぐに共有できることで話し合いが活発になり、教師主導型の授業から児童生徒主体の授業に変わってきているんだね。

柳之宮小学校は、令和3・4年度八潮市小学校プログラミング教育研究校の指定を受けて、全学年でプログラミング教育の取組を行っているよ。プログラミング教育は、プログラミングスキルを学ぶのではなく、論理的な思考力を育てることをねらいとしているんだ。

1年生は自分で描いた海の生き物をプログラミングして自由に動かしたり、3年生では自分でクイズのプログラムを作成したりしたよ。それから、6年生では電子工作ができるプログラミング教材を使って、いろいろなマークを点滅させる方法を学んだんだ。学年ごとに段階的に学んでいくんだね。令和4年度もどんな授業が行われるのか楽しみだね。



<児童の感想>  
私たちが普段使っているゲーム機や洗濯機も、コンピュータが入っているからしっかりと使えることがわかりました。自分でプログラミングを考えて操作することができ、とても楽しかったし感動しました。



令和4年度  
小中一貫教育  
の取組

令和3年度は、教員が構成員となっている「小中一貫教育推進検討部会」の各5部会において「GIGA端末の有効な活用」を共通テーマに研究しました。各部会での研究が市内全校で共有されたことにより、GIGA端末の活用が市内に広まりました。

令和4年度は、更に「GIGA端末の有効な活用」について研究を深めるため、小中一貫教育推進

検討部会に「ICT部会」を新設し、小中一貫教育の観点から、小・中学校での共通指導や「八潮スタンダード」とGIGA端末を組み合わせた授業の充実など、情報活用能力の育成を推進していきます。

また、小中一貫教育「はばたき2022」研究発表会は、八幡中学校ブロック（八幡小学校、柳之宮小学校、八幡中学校）において、ブロックの取組や授業実践について報告する予定です。